

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 6 日(2023.10.6)

【公開番号】特開 2022-106368(P2022-106368A)
【公開日】令和 4 年 7 月 20 日(2022.7.20)
【年通号数】公開公報(特許)2022-131
【出願番号】特願 2021-1289(P2021-1289)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 5 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 9 月 28 日(2023.9.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

所定のリールと、

所定のセンサとを備え、

所定のリールは所定の被検出部を有し、

所定のセンサは、所定の被検出部を検出可能に構成されており、

電源の供給が遮断される事象が発生した後に電源の供給が遮断される事象を検出した場合は電源断時処理が実行可能であり、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第 1 タイミングで受け付けられた場合は所定図柄組合せに対応する所定図柄を停止させるための処理が実行可能であり、

30

所定のリールには前記所定図柄が複数個描かれており、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第 1 タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第 2 タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第 3 タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出すると遊技者のストップスイッチの停止操作によらずに第 1 タイミングで所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が受け付けられたときに停止可能な前記所定図柄を停止させるための処理が実行可能であり、

40

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状況で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第 1 タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第 2 タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第 3 タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ

50

、当該所定のリールを定速で回転させているときは所定のリールに対する脱調を検出可能であり、

内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状態で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第１タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第２タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第３タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出した後の第４のタイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第３タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出すると遊技者のストップスイッチの停止操作によらずに第１タイミングで所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が受け付けられたときに停止可能な前記所定図柄を停止させるための処理が実行可能である遊技機。

10

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

20

本発明は、所定のリールと、所定のセンサとを備え、所定のリールは所定の被検出部を有し、所定のセンサは、所定の被検出部を検出可能に構成されており、電源の供給が遮断される事象が発生した後に電源の供給が遮断される事象を検出した場合は電源断時処理が実行可能であり、内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状態で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第１タイミングで受け付けられた場合は所定図柄組合せに対応する所定図柄を停止させるための処理が実行可能であり、所定のリールには前記所定図柄が複数個描かれており、内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状態で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第１タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第２タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第３タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出すると遊技者のストップスイッチの停止操作によらずに第１タイミングで所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が受け付けられたときに停止可能な前記所定図柄を停止させるための処理が実行可能であり、内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状態で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第１タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第２タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第３タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、当該所定のリールを定速で回転させているときは所定のリールに対する脱調を検出可能であり、内部抽選手段の内部抽選の結果が所定の結果となった遊技にて、所定のストップスイッチ以外の各ストップスイッチが停止操作されて所定図柄組合せに対応する各図柄が停止されており、且つ所定のリールを定速で回転させている状態で、最後に所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が第１タイミングで受け付けられ、その後、前記所定図柄を停止させるための処理を実行している第２タイミングで電源断時処理が実行された場合は、電

30

40

50

源復帰後の第 3 タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出した後の第 4 のタイミングで電源断時処理が実行された場合は、電源復帰後の第 3 タイミングで所定のリールを加速させた後に定速で回転させ、その後当該所定のリールの所定の被検出部を検出すると遊技者のストップスイッチの停止操作によらずに第 1 タイミングで所定のリールに対応する所定のストップスイッチの停止操作が受け付けられたときに停止可能な前記所定図柄を停止させるための処理が実行可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50